

## 用途で使い分け「セロハンテープ」のご案内

## しっかり留まるスタンダードな「セロテープ」

一般的な文具としてもおなじみで、各家庭にも必ずあるセロハンテープ。

歴史を遡ると1930年アメリカの3M社が開発したのが始まりで、日本では当時医療用絆創膏メーカーであったニチバン（当時の日絆工業㈱）が1947年に発売を開始しました。日常で良く使われる「セロテープ」という呼び名はニチバンの登録標章となっており、一般的にはセロハンテープが正しい呼称です。ライトではニチバン製の産業用「セロテープ」を取り扱っています。

簡易包装の10巻パックとなっており、余分なコストを極力省いたビジネスライクな製品になっています。

クリーニング業界でも「セロテープ」は様々なシーンで活躍していますが、主に布団や毛布などを包んだポリを留めるような、しっかりと留めたいときにお勧めです。



## 見出し留めには剥がしやすい「シンセロ」

ライトではもう1種類、オカモト製の「シンセロ」も取り扱っています。

こちらはOPP（ポリプロピレン）フィルムを基材に使用したテープです。強度と耐水性・耐湿性・透明性に優れており、変色せず手で切りやすいのが特徴です。

さらに「シンセロ」は糊の強度が強すぎないため、クリーニングでは主に、アッセンブリの際に伝票や見出しを商品に留める際に適しています。ピリピリっと簡単に剥がすことができ、ポリを傷めることがありません。その使い勝手の良さを是非一度お試しください。



## 各種サイズや粘着テープも取り扱い可能です！



セロハンテープには様々なサイズがあります。ライトでは一般的な12mm・15mm・18mm巾の各35m巻を常時在庫品として取り扱っていますが、ご要望に応じて9mm巾・24mm巾や、50m巻・70m巻等も箱単位でお取り寄せが可能です。その他の粘着テープ類やセロテープ台（ジスパンサー）等、テープに関する様々な資材もお問い合わせ下さい。